



NPO法人 ふうどばんく東北 AGAIN
【自立したフードバンク活動を行うには】

副代表理事 高橋 尚子
富樫 花奈

団体について

きっかけはパン屋さん

【のこったパンをどうにかしたいなー】

たくさんの食糧が捨てられる一方で、明日
食べる物も無い困窮した人々がいます
そんな世の中のフードロス部分の 【もったいない】 を
だれかの【ありがとう】に変える活動です



『ふうどばんく東北AGAIN』

- ・2008年に創設された東北一古い
フードバンク団体

『ふうどばんく東北AGAINのミッション』

- ・食の支援を通して様々な
社会課題や貧困に立ち向かう
- ・フードロス問題にも取り組む

『活動理念』

- ・もったいないをありがとうの笑顔へ
- ・誰も取り残されない社会

ふうどばんく東北AGAINの名前の由来

【ふうどばんく】

のひらがな表記風と土の“風土”

その土地の気候・気質・景観などに見られる環境

(住民の生活や文化に深く働きかけるもの)

また、東北には本来・自然の恵みに感謝の精神で

食べ物を譲り合い

助け合う風土がありました

また、方言の【あがいん】にかけ

【どうぞおあがりください、お召し上がりください】

英語の【AGAIN】

“また来てね”という意味や

“再生”の意味もあります



『フードロスとフードバンクについて』

フードロスとは……

まだ食べられるのに、捨てられてしまう食糧品のことです。日本では年間約**472万トン**ものまだたべられるのに捨てられる食糧品があります。これは、日本の人口でいうと、毎日お茶碗1杯分の食糧品が廃棄されてます。また1世帯が1年間に捨てている食品を金額にすると、**年間72,000円/世帯**の経済損失になるとも言われている。また食べ物に困っている人**2000万人**いると言われている。



日本人**6人に1人**が月**10万円**以下で暮らしている
子どもの貧困率は**11.5%**
8人に1人が貧困

フードロスはどこから・どうしておきるの？

レストランや食品工場

- ・お客様の食べ残した料理
- ・スーパーなどで大量に発注した季節商品・恵方巻やクリスマスケーキの売れ残りなどを捨てた

事業系
236万トン

家庭の日々の生活において

- ・一回に作る糧が多くなってしまい、食べきる前に捨てた
- ・安売りしてたのでまとめ買いしたものの、使いきれず捨てた
- ・野菜や果物が最も多い

家庭系
236万トン

フードロスはなんで悪いの？

地球温暖化の要因になる

CO2
排出

- ・たべものをもやしてかたづけるときでCO2(二酸化炭素)が地球温暖化の原因になる温室効果をたかめる

お財布や心が痛む

もった
いない

- ・家庭におけるフードロスは、お金を捨てていることと同じ

ふうどばんく東北AGAINの3つの活動

安心して暮らせる社会づくりのため

フードバンク事業

- ・生活困窮者支援
- ・食品ロス・環境問題

困りごと支援

- ・生活相談
- ・各種制度の情報共有
- ・行政や各種機関への連携支援

コミュニティ事業

- ・子ども食堂
- ・プレーパーク
- ・コミュニティスペース
- ・地域のためや、啓蒙活動としてイベント(マルシェ)
- ・障害者の社会経験の場
- ・学習支援

当団体からの支援方法 その1

【直接支援】

電話やメール

⇒個人からの連絡、SOSを受けての支援
・宮城県内を中心に支援
・食糧支援申請書を元に
個人からヒアリング

1人が1週間暮らせる量をBOXに
詰める

※お米2.5キロ/総重量約8キロ
から10キロ

- ・アレルギーはあるか？
- ・電気ガス水道はつかえる
か？

家族は何人か？



当団体からの支援方法 その2

【連携支援】

電話やFAX

- ・各役所の窓口
- ・生活保護課
- ・家庭健康課
- ・障害高齢化
- ・子育て支援課
- ・社会福祉協議会
- ・地域包括支援センター

⇒行政の窓口や社協などの
要請を受けて支援

当日に13時まで連絡を受ければ
その日の夕方までお届け



当団体からの支援方法 その3

【団体支援】

電話

- ・子ども食堂
- ・ホームレス支援団体
- ・被災者支援団体
- ・児童養護施設
- ・母子生活支援センター
- ・外国人留学生
- 他県のフードバンク団体
- フードロス対策として
学校
- 学童クラブ
- スポーツ少年団

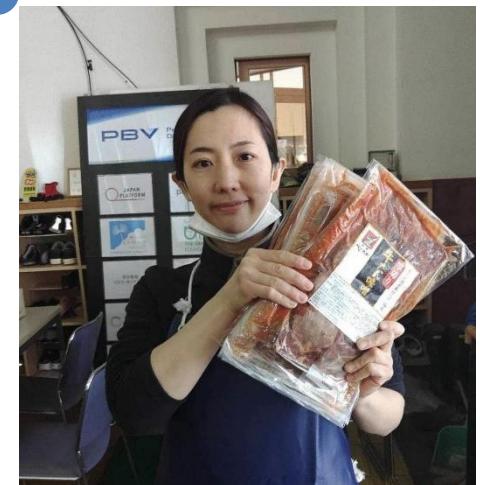
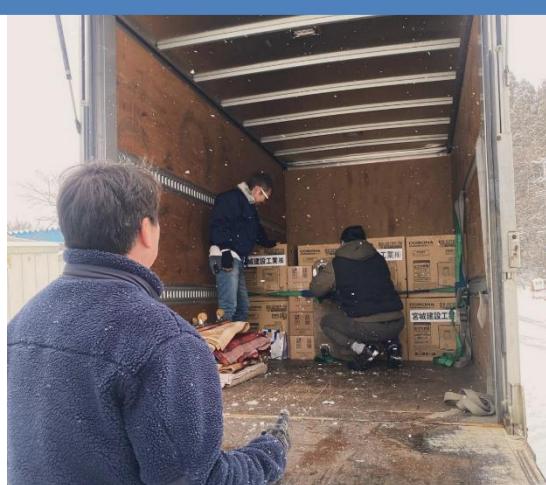
⇒宮城県内外の現在400ある連携団体への支援



ネットワークの力が助け合いを呼ぶ



被災地支援



当団体からの支援方法 その4

【ひとり親家庭支援】 ⇒毎月1回100世帯300人のフードパントリー



- ・継続支援
- ・児童扶養手当・アンケート提出必須
- ・予約制(QRコードによる)
- ・生活保護者対象外
- ・開催日に当事務所まで引き取り

2020年から始め、2024年現在なくてはならない活動になっている



お米5キロ
総重量15キロ
から20キロ

困窮者支援に大切なこと

ヒヤリング力

同調する力

判断力

連携力

フードバンクはあくまで緊急支援
扶養家族を増やさないようにする。食事を与え続けるだけでは問題が解決しない。

今の現状は変えたくないけど支援してほしいは難しい。
同行支援などし手を尽くしたが本人が変わらないと手助けできない。
私たちも支援者がいて成り立っている。

フードバンクは行政ではない

多様な支援体制を支えるのは 多様なボランティア体制が支える



ボランティアさんたちが
自分の得意を生かして
活躍！！
役割分担がしっかりとし
ています
・事務局補助
・会計補助
・受電係
・配送係
・回収係
・清掃・整理整頓係
・子ども食堂対応係
・ひとり親家庭支援係
・イベント応援係
・子ども食堂運営係

ボランティアさんの大活躍！協力してくれる
学生さんや団体さん企業さんも…

2020年には遂に資金難で継続が難しくなる・・

なくてはならない活動なのに 保証がない！！

フードバンクは無償提供された食料を無償で困窮する人に配る活動。
活動のどこからも収入が得られないことで創業以来、経営難が続いていました。

そうした中、新聞やメディア報道を見た篤志家から600万円が届き、それに続き個人や企業の方から次々と寄付や寄贈の申し出が届きました。時を同じくして..



資金難の原因 (事業総額約700万) ・賃料・光熱費・ガソリン代など

結果から言います！

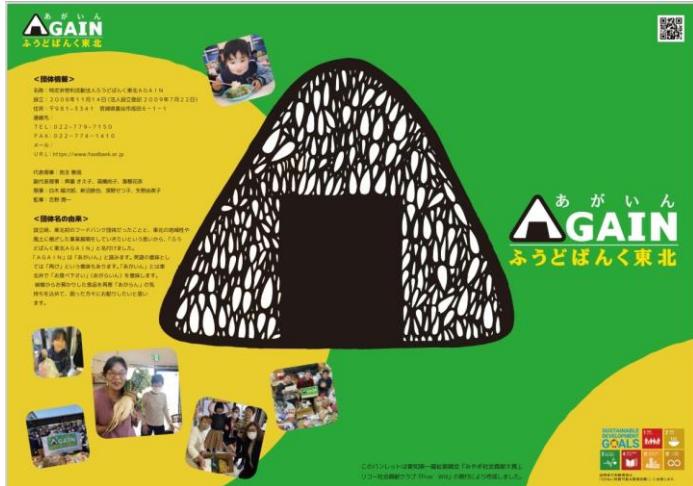
企業連携で大切なのは『広報』と『信頼』



どうして借金まみれだったか原因を考える…

- 『フードバンク』という言葉 자체を知らない人が多い
- 活動がどう維持されているか外から見ると分からぬ黒箱
- 気軽に関わる・来てみようという環境では無かった
- 手軽に寄付できる仕組みが無かった
- ホームページ・facebook共に何年も更新されていなかった
..等々

2020年4月以降改善したこと 取り組んだこと その①



●フードバンクという言葉を知らない人が多かった

→SDGsに取り組む企業や人が増え、フードバンクの活動に世の中が追いついてきたというチャンス！！
何に取り組む団体で誰が関わっているのかを分かりやすくし、パンフレットも作り変えた

地方創生 SDGs
官 民連携
プラットフォーム



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

SDGsに取り組もうとしているが何をしたらいいか分からぬといふ企業が相談に来るようになった

お手伝いできる事は何か？ 出来るだけ具体的に相談する

無理なく出来る事から少し貢献度の高い事まで提案

- 備蓄の食料品の寄贈
- 社内でのフードドライブ
- 企業ボランティアの協力
- 倉庫などの施設協力
- 配送など物流のお手伝い
- 法人会員や寄付



2020年4月以降改善したこと 取り組んだこと その②

●活動がどう維持されているか外から見ると分からぬ黒箱

資金難の様なネガティブな情報も全て含め、SNSで毎日のように発信。
活動の見える化を図った。

日々活動に関わっている人やその想い・応援してくださった企業を紹介。
SNS以外のラジオ、新聞、TVでも積極的に情報発信

○Instagram 1822フォロワー
○FACEBOOK 2016フォロワー

多い投稿だと2000人ほど人が
見ている



広報の効果を感じることは度々ある

例1 「一年以上見られていた…」

例2 「何をしたら…？」

例3 「求人の応募者が増えた」

…企業の場合は特に、今から支援しようとしている団体が信頼できる団体かを見ている。

福祉団体に支援した場合に、それが会社にとって出来るだけ社会的インパクトがある支援か？も寄付先を選ぶ上での大事な要因の一つ。

2020年4月以降改善したこと 取り組んだこと その③

講演や研修会など呼ばれたら必ず行く！

- ロータリークラブやライオンズクラブ等の講演や会合は、企業のトップが出席している場合が多い。これがチャンスになり、そこから企業全体が動き出すことが多い。
- 参加者の人脈で次の講演に繋がることが多い。



一度も企業に営業したことはない
企業・団体さんが、
また『企業・団体さん』を連れて来てくれる



広がる支援の輪



あなたに、ベスト・ウェイ。



一生涯のパートナー

第一生命



仙台ターミナルビル(株)



必要な倉庫も企業協賛(無償)で13か所整備



タカラ米穀株式会社

白真倉庫
USUSHIN

人とモノをつなぐ
ジー・シー・アイ

社会福祉法人
東松島福祉会



大量の寄贈を受け入れる
ために必要だった倉庫。
企業の協力で全温度帯の
倉庫やパレット搬入が
可能な倉庫など、
宮城県内の各所に
13か所ほど整備する
ことができました。

番外編 遂に企業の中に事務所が入ってしまった



地域への還元やその後の物資などの流れをどのように 行っているかもSNSで広報、そしてお礼をする



ありがとうの言葉が原動力



成田中央幼稚園
の年長さん



表彰で恩返し

三種郵便物認可

みやぎ社会貢献大賞は県内で5年
以上、福祉や教育、環境などの分野
で、公益的な活動を続ける団体に贈ら
れる。振興会が募り、本年度は12團
体が申し込んだ。

書類選考を経た4団体を対象に、
仙台市内で昨年1月上旬、公開審査

愛知揆一 福祉振興会 富谷拠点の活動評価



みやぎ社会貢献大賞

感謝状

特定非営利活動法人ふうとほん東北AGAIN様

貴団体は廃棄物の減量の重要性
をよく理解し廃棄物の減量及び
リサイクルに積極的に取り組ま
れました よってここに感謝の
意を表します

令和5年11月13日

仙台市長 郡 和子



応援してくれる人たちのために

支援する私たちも、支援してくれる人たちがいる
誰かの何かしたいをかなえるのが私たちの役目です



ご清聴ありがとうございました